

第3章 訓練参加者に対するアンケート調査

3.1 アンケート調査概要

平成 29 年度の新宿駅西口地域地震防災訓練の参加者を対象に、満足度や役割の達成度等の評価および今後の課題やテーマ等を抽出することを目的としてアンケート調査を実施した。調査は、訓練当日に行われた。調査票は訓練種別に応じて作成し、参加者には各自が参加した訓練の調査票に対する回答を依頼した。西口現地本部訓練のアンケートは、現地本部要員を対象に実施した。回答方法は、選択肢方式および記述方式を併用し、選択肢については各問に対する肯定表現と否定表現に中間表現および中立表現を加えた 5 択方式とした。表 10 に訓練種別ごとの参加者数、アンケート回収数および回収率を示す。

表 10 訓練参加者に対するアンケート調査回収状況

訓練種別	参加者数	回収数	回収率
多数傷病者対応訓練	48	35	73%
自衛消防訓練	19	15	79%
西口現地本部訓練（現地本部要員）	18	14	78%
合計	85	64	75%

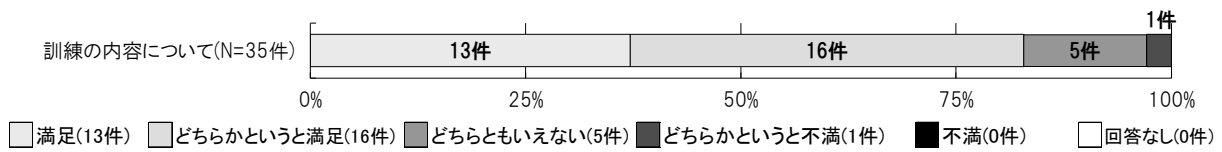
3.2 多数傷病者対応訓練アンケート調査結果概要

多数傷病者対応訓練の参加者に対し、以下の設問からなるアンケート調査を実施した。

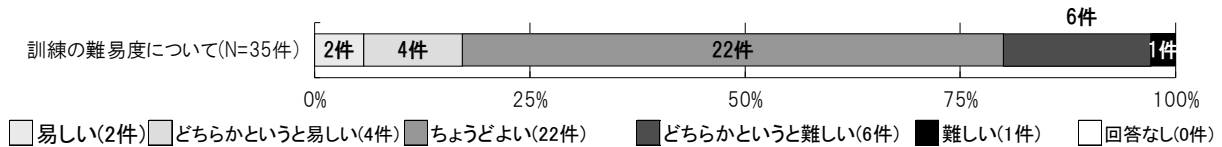
- Q1. 訓練の内容はいかがでしたか？
- Q2. 訓練の難易度はいかがでしたか？
- Q3. 訓練目標①「多数の傷病者を想定した地域の共助による応急救護活動を行う」は達成できたと思いますか？
- Q4. 訓練目標②「地域で傷病者に対応するための情報収集伝達を行う」は達成できたと思いますか？
- Q5. 訓練目標③「地域の医療従事者と非医療従事者のコミュニケーションを図る」は達成できたと思いますか？
- Q6. 訓練を通じてご自身の災害対応能力を高める知識や経験が得られたと思いますか？
- Q7. 地域における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？
- Q8. 今年度実施した関連する講習会への参加状況をご記入ください。
- Q9. 上記設問の講習会に一つでも参加された方は、講習会で学んだことが本訓練の実践に役立ったと思いますか？
- Q10. 地域における共助の訓練として実施した本訓練の内容は次年度も継続すべきだと思いますか？
- Q11. 本日の訓練について、ご感想をお聞かせください。
- Q12. お勤め先についてお聞かせください。

回答者 35 名の勤務先の属性は、テナント入居者が 12 名 (34%)、建物・施設管理者が 7 名 (20%)、ビルオーナーが 2 名 (6%)、その他が 2 名 (6%)、回答なしが 12 名 (34%) であり、勤務先で自衛消防隊の役割があると答えた方が 7 名 (20%)、自衛消防隊以外の災害時の役割があると答えた方は 5 名 (14%) であった。図 47 および表 11 にアンケート調査結果の一部を示す。設問 1 の訓練に対する満足度は、「満足」または「どちらかという満足」と答えた方が 29 名 (83%)、「どちらともいえない」が 5 名 (14%)、「どちらかという不満」1 名 (3%) であった。設問 2 の訓練の難易度については、「易しい」または「どちらかという易しい」と答えた方が 6 名 (17%)、「ちょうどよい」が 22 名 (63%)、「どちらかという難しい」または「難しい」が 7 名 (20%) であった。設問 3～設問 5 の訓練目標を達成できたと思うかについて、「思う」または「どちらかという思う」と答えた方は、訓練目標①が 21 名 (60%)、訓練目標②が 14 名 (40%)、訓練目標③が 18 名 (51%) であった。設問 6～設問 7 では、自身および地域に対して、いずれも災害対応力を高める効果を認める回答が 80%以上であった。設問 8 では、関連する応急救護講習会への参加者が 4 名 (11%)、応急救護リーダー講習会への参加者が 5 名 (14%) であった。講習会に参加した 9 名に対する設問 9 では、講習会で学んだことが訓練に役立ったと思うかについて、「思う」と答えた方が 8 名 (89%)、無回答が 1 名 (11%) であった。設問 10 の本訓練の内容を次年度も継続すべきだと思うかについては、「思う」と答えた方が 25 名 (71%)、「どちらかという思う」が 6 名 (17%)、「どちらともいえない」が 1 名 (3%)、「どちらかという思わない」が 1 名 (3%) であった。

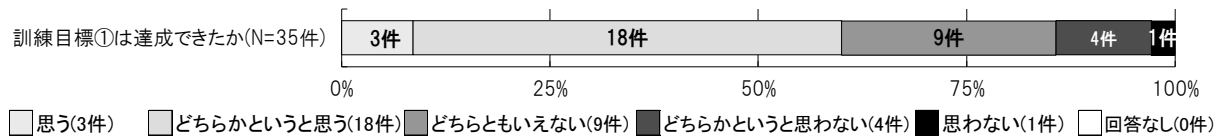
Q1. 訓練の内容はいかがでしたか？



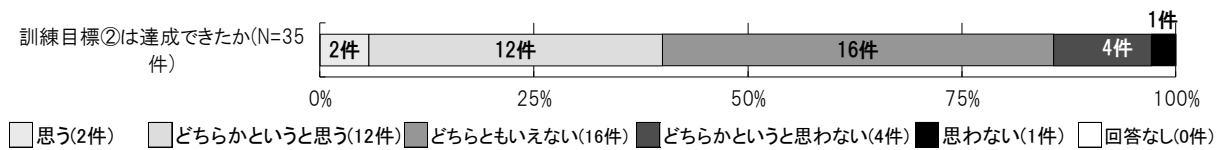
Q2. 訓練の難易度はいかがでしたか？



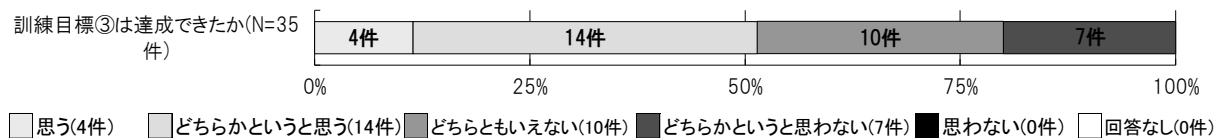
Q3. 訓練目標①「多数の傷病者を想定した地域の共助による応急救護活動を行う」は達成できたと思いますか？



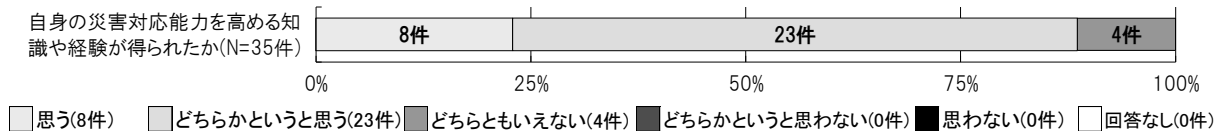
Q4. 訓練目標②「地域で傷病者に対応するための情報収集伝達を行う」は達成できたと思いますか？



Q5. 訓練目標③「地域の医療従事者と非医療従事者のコミュニケーションを図る」は達成できたと思いますか？



Q6. 訓練を通じてご自身の災害対応能力を高める知識や経験が得られたと思いますか？



Q7. 地域における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？

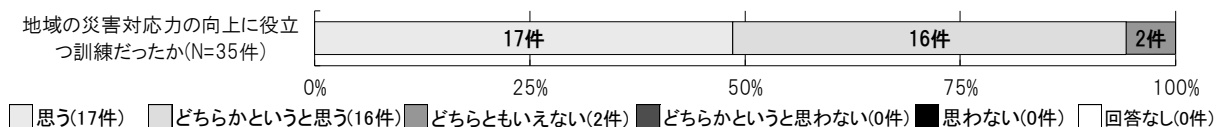


図 47 多数傷病者対応訓練参加者に対するアンケート調査結果(1)

表 11 多数傷病者対応訓練参加者に対するアンケート調査結果(2)

良かった点 (設問 11)

- ・ 実際に訓練で応急救護できたこと
- ・ 救護、傷病者のどちらの立場も経験できた点
- ・ 応急救護や、情報収集に特化しているのは良い。コンパクトにまとまっていて分かりやすい
- ・ 三角巾を実践的に使えた。担架を始めて使用した。人は予想以上に重たく経験できて良かった
- ・ 実践的な訓練内容
- ・ 経験しておくことが大切だと思う
- ・ 今年初参加でしたが、とても勉強になりました。このままの内容で来年も継続していただきたいと思います
- ・ 災害時のイメージをつかむことが出来て良かった
- ・ 一連の流れをなんとなく知ることができた。説明を受けていても難しかった
- ・ リアリテイ
- ・ 応急救護の難しさを実感した
- ・ 災害時の現場会場で実施できたことは良かった
- ・ 初めて経験することばかりでしたが、何となくではありますが状況を把握することができた。実際に起きた場合、対応することができるか非常に難しいと思うが、この経験を生かしていきたい
- ・ いろいろあります
- ・ 具体的なシチュエーションでの模擬訓練は学習と気付きを得られ、参考になります。医療従事者の方はさすが人を安心させるのが上手だなと思いました。けが人の側になって分かったことで、救護班役のときはコミュニケーションどころじゃなかったの
- ・ 医療者役と傷病者役の両方が実施できて、相手の立場にたったところから医療者のできることを考えることができた
- ・ 傷病者がまとめて来なかったのもやりやすかった
- ・ 一般の方の経験者が増えることで、意識向上につながると思います。是非、続けていただけると良いと思います
- ・ 様々な関係者が集うことができた。ビル診療所の先生方に現状を見てもらうことができた
- ・ 医師の参加が多かった。応急救護が良くできていた
- ・ 応急救護よくできていると思う
- ・ 去年は工学院、今年は西新宿駅前など、いろいろ場所で行うのはいい
- ・ 広場で実施したことで臨場感があった
- ・ 担架などの実物を見られたこと
- ・ 1人で担架を運ぶやり方が分かったのも良かった
- ・ 新宿駅周辺の団体が1つになって防災対策を考える場となって良かったと思います。いろんな形でコミュニケーションをとり、いざというときに状況に応じた対応策が実施できるように意識付けされた機会になったと思います

改善点 (設問 11)

- ・ 実際に災害があった際人が集まるのか等
- ・ 傷病者から元気になって情報連絡班へ手伝いになったが、初めて情報連絡班になっても、記入する際の優先順位などが、分からず戸惑った。初めての人も分かりやすい仕様になれば良いと思う
- ・ 自分が手当てした内容が自分の傷病者役だった。手当てした人に手当てしてもらったので、もっとランダムでも良いと思った
- ・ 伝達をしっかり行う、大きな声で伝えるのが大切だと思った
- ・ 締め切り後の追加募集で応募したため、講習会は既に終了しており、参加できませんでした。独学でも、もっと勉強して望むべきでした。申し訳ありませんでした
- ・ 応急救護講習会に参加した方が良かった
- ・ あくまでも応急手当であり、重症の人を前にすると何をしたいのかわからなくなる。手当の指示があると良い
- ・ 救護の方法について、レクチャを当日もしていただきたい
- ・ 傷病者の応急処置に必要な資機材の充実を望みます。現場では満足な処置は不可能です
- ・ いろいろあります
- ・ プロの方々の動きを見てから、実践に移って必要なことを学んでいきたいと思いました
- ・ トイレ休憩の時間があるとよかったです

- 応急救護・医療はもっと声を出して連携していくと、重傷者・軽症者の区別とか、すばやく判断できると思います
- 実際は傷病者がまとめて来るので、その中で重傷者をどう先にみるかを考える必要あり
- 物品、資材、シーネの長/短サイズがすぐにわかる配置。デジタル血圧計など、一般の方でも使えそうな機器の取り込みはいかがでしょうか。ボードがないまま、寝ている方がいたので、途中までの記載になっても本人の側においてあるような受付を検討
- 傷病者の気持ちに沿った医療ができなかった。具合の悪い人に対しての声掛け。搬送する人に現在の状態や、搬送先の説明を忘れた。臨機応変な状況における対応。
- さらに実際に即した訓練に！
- やはりトリアージは必要。効率よくできる。受付で時間かかるのは良くない
- 受付が一番大事で大変。スマートフォンを用いる方法を確立してください。傷病者は一人一人追いかけるが、情報はホワイトボードに記載
- 時間の配分
- 事前説明が長い

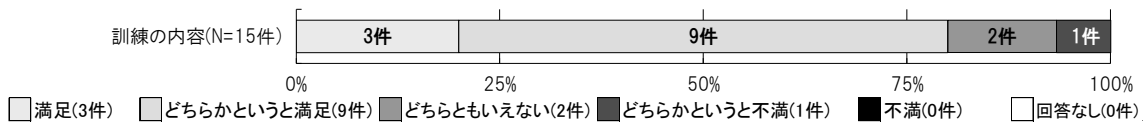
3.3 自衛消防訓練アンケート調査結果概要

自衛消防訓練の参加者に対し、以下の設問からなるアンケート調査を実施した。

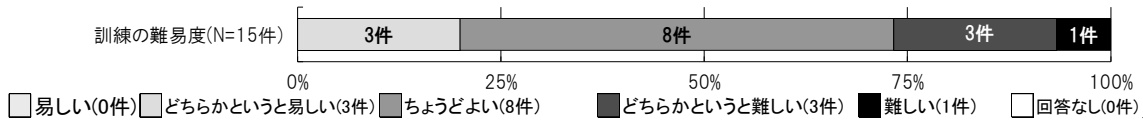
- Q1. 訓練の内容はいかがでしたか？
- Q2. 訓練の難易度はいかがでしたか？
- Q3. 訓練目標①「各班の役割を実践するとともに相互協力して事案に対応する」は達成できたと思いますか？
- Q4. 訓練目標②「地区隊と本部隊が情報を共有し連携して活動する」は達成できたと思いますか？
- Q5. 訓練目標③「地域の関係機関と情報を共有する」は達成できたと思いますか？
- Q6. 訓練を通じてご自身の災害対応能力を高める知識や経験が得られたと思いますか？
- Q7. 事業所（お勤め先）における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？
- Q8. 地域における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？
- Q9. 地域における自助・共助の訓練として実施した本訓練の内容は次年度も継続すべきだと思いますか？
- Q10.今年度実施した関連する講習会への参加状況をご記入ください。
- Q11.関連講習会に一つでも参加された方は、講習会で学んだことが本訓練の実践に役立ったと思いますか？
- Q12.本日の訓練の内容で事業所（お勤め先）でも取り入れたいと思うことがあればお聞かせください。
- Q13.本日の訓練について、ご感想をお聞かせください。
- Q14.お勤め先についてお聞かせください。

回答者 15 名の勤務先の属性は、テナント入居者が 6 名 (40%)、建物・施設管理者が 4 名 (27%)、ビルオーナーが 1 名 (7%)、その他が 1 名 (7%)、回答なしが 3 名 (20%) であり、勤務先で自衛消防隊の役割があると答えた方が 7 名 (47%)、自衛消防隊以外の災害時の役割があると答えた方は 3 名 (20%) であった。図 48 および表 12 にアンケート調査結果の一部を示す。設問 1 の訓練に対する満足度は、「満足」または「どちらかという満足」と答えた方が 12 名 (80%)、「どちらともいえない」が 2 名 (13%)、「どちらかという不満」が 1 名 (7%) であった。設問 2 の訓練の難易度については、「どちらかという易しい」と答えた方が 3 名 (20%)、「ちょうどよい」が 8 名 (53%)、「どちらかという難しい」が 3 名 (20%)、「難しい」が 1 名 (7%) であった。設問 3～設問 5 の訓練目標を達成できたと思うかについて、「思う」または「どちらかという思う」と答えた方は、訓練目標①が 11 名 (73%)、訓練目標②が 6 名 (40%)、訓練目標③が 5 名 (33%) であった。設問 6～設問 8 では、自身、事業所および地域に対して、いずれも災害対応力を高める効果を認める回答が 70%以上であった。設問 9 の本訓練の内容を次年度も継続すべきだと思うかについては、「思う」と答えた方が 6 名 (40%)、「どちらかという思う」が 7 名 (47%)、「どちらともいえない」が 2 名 (13%) であった。設問 10 では、関連する講習会への参加率が低かったことがわかる。講習会に参加した 8 名に対する設問 11 では、講習会で学んだことが訓練に役立ったと思うかについて、「思う」または「どちらかという思う」と答えた方が 6 名 (75%)、「どちらともいえない」が 1 名 (13%)、無回答が 1 名 (13%) であった。

Q1. 訓練の内容はいかがでしたか？



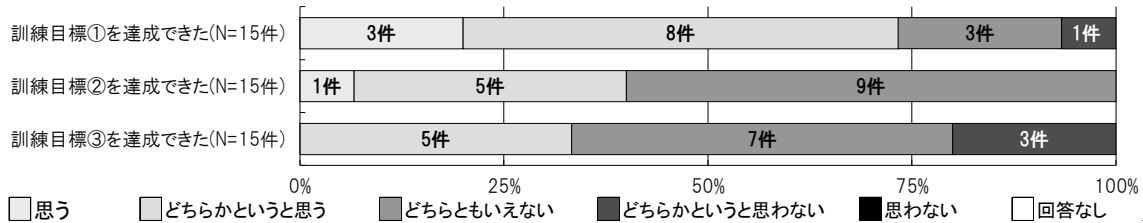
Q2. 訓練の難易度はいかがでしたか？



Q3. 訓練目標①「各班の役割を実践するとともに相互協力して事案に対応する」は達成できたと思いますか？

Q4. 訓練目標②「地区隊と本部隊が情報を共有し連携して活動する」は達成できたと思いますか？

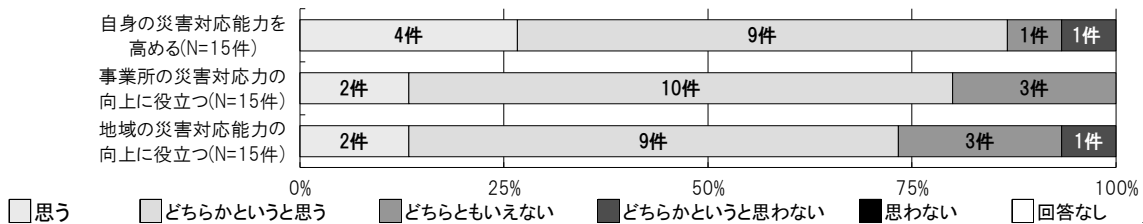
Q5. 訓練目標③「地域の関係機関と情報を共有する」は達成できたと思いますか？



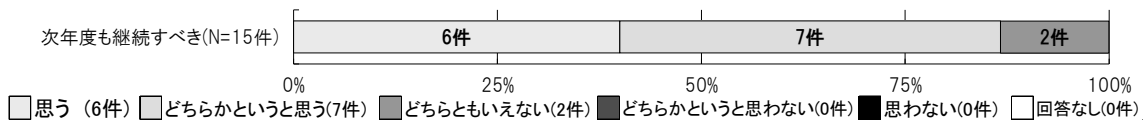
Q6. 訓練を通じてご自身の災害対応能力を高める知識や経験が得られたと思いますか？

Q7. 事業所(お勤め先)における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？

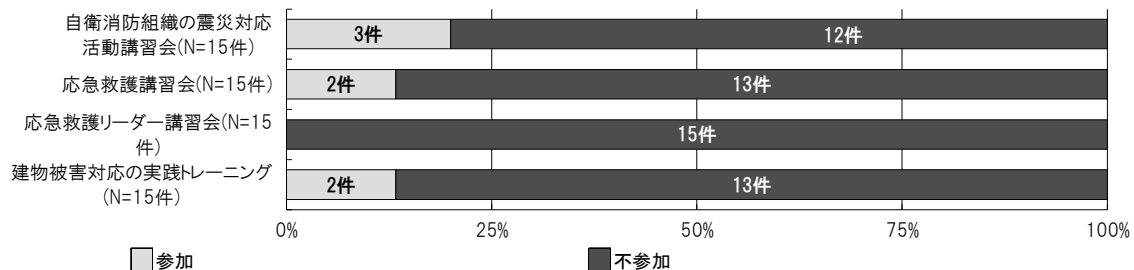
Q8. 地域における災害対応力の向上に役立つ訓練だったと思いますか？



Q9. 地域における自助・共助の訓練として実施した本訓練の内容は次年度も継続すべきだと思いますか？



Q10. 今年度実施した関連する講習会への参加状況をご記入ください。



Q11. 講習会で学んだことが本訓練の実践に役立ったと思いますか？(講習会参加者8名に対して)

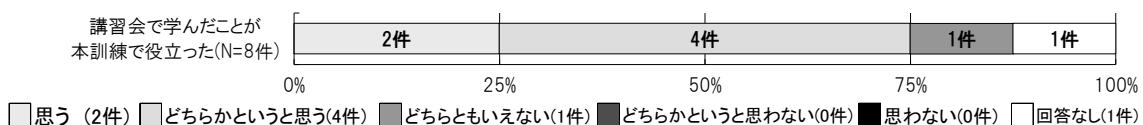


図 48 自衛消防訓練参加者に対するアンケート調査結果(1)

表 12 自衛消防訓練参加者に対するアンケート調査結果(2)

事業所でも取り入れたいと思う訓練内容（設問 12）

- ・ スマートフォンアプリからの報告
- ・ 応急手当が出来るように骨折時、副子、三角巾の使い方
- ・ 各班の役割に沿った実践的な訓練
- ・ 本部運営で何の情報を集め、どのように分類して記録するか（情報として有効活用できるか）を教訓として進めたい
- ・ 建物被害チェックシート

良かった点（設問 13）

- ・ 情報共有の方法（連携）
- ・ 学生や専門家の評価が的確
- ・ 実際の現場において教のようにシナリオ通りに運ぶことは殆どないと思う。今回のおおよそのシナリオが出来ている中であっても対応が不十分であったりすることが多いと感じた。そういった面を実際に体感できて良かった
- ・ 思っていた以上に出来なかったことが反省材料です。初めての経験をしたのでよかった
- ・ 想定に沿って役割ごとの活動を行うこと
- ・ iPhone のデータ送信の導入（安全防護）
- ・ アプリ活用は良かったが、大震災時に通信量がぼう大になる中、使用可能か疑問がある
- ・ 2 回繰り返す点

改善点（設問 13）

- ・ QR コードと写真による情報共有は理想であるが現場の状況や通信状況によっては難しい。簡便な方法はないのか？また、個人のスマホを使うのは個人情報の観点から抵抗がある人もいると思う。
- ・ スタッフと赤十字の方で、シナリオの共有が出来ていないため進行手順が混迷していた。訓練を取り仕切る運営側は共通認識のもと、仕切ってもらいたい。考え方や対応に関する手順等、得ることもあったがそれ以上に混迷していた。という印象が強く残ってしまった。又事前に講習会に出ることがシナリオを進めるのに必須ならば出席を義務にするか、班に求められる役割をシナリオに明記した方がいい
- ・ 見学者も振って参加していただきたい
- ・ スマホでの送信で、不鮮明な写真だと役に立たなかったこと
- ・ 今回地区隊のみであったので、本部隊の動きが見えなかった。2 回行うのであれば、地区隊・本部隊の両方を行いたかった
- ・ あまりスタッフが先回りして説明しない方が良いと思う

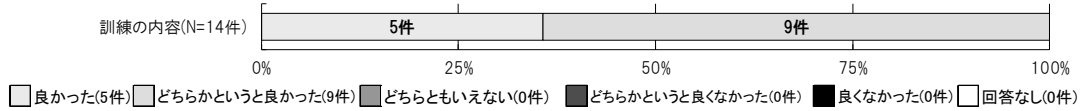
3.4 西口現地本部訓練アンケート調査結果概要

西口現地本部訓練の参加者のうち、現地本部要員に対し、以下の設問からなるアンケート調査を実施した。

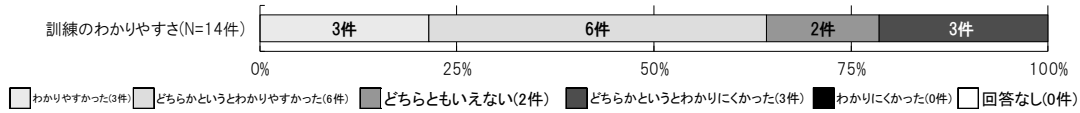
- Q1. 訓練の内容はいかがでしたか？
- Q2. 訓練のわかりやすさはいかがでしたか？
- Q3. 訓練における役割を円滑に実施できましたか？
- Q4. 訓練において「上手くできた」「上手くできなかった」と思うことをそれぞれお書きください。
- Q5. 手順書の使いやすさやとるべき行動のわかりやすさはいかがでしたか？
- Q6. 様式（ホワイトボードに掲示された）の使いやすさ、表示内容などはいかがでしたか？
- Q7. 本日の訓練を通して西口現地本部の役割や機能を理解することが出来ましたか？
- Q8. 本日の訓練が、新宿駅周辺地域で起きる地震被害や地域で必要となる災害対応のイメージづくりに役立ちましたか？
- Q9. 今回のような図上演習形式での訓練は災害対応力を高めるうえで有用だと思いますか？
- Q10. 西口現地本部に期待する役割や、西口現地本部から提供してほしい情報についてお聞かせください。
- Q11. 西口現地本部の役割や活動について改善すべきと感じた点があればお聞かせください。
- Q12. 西口現地本部は、新宿駅周辺の混乱防止を図るため、地域事業者の皆様と新宿区が連携して開設・運営していくものです。災害時に西口現地本部を機能させ、地域で有効に活用していくためのアイデア等があればお聞かせください。
- Q13. 訓練を通して大規模地震等への対策について認識を新たにすることがあればお聞かせください。
- Q14. お勤め先において、災害時に対応すべき役割を担っていますか？

回答者 14 名の属性（設問 14）は、勤務先で災害時に対応すべき役割があると答えた方が 5 名（36%）、ないと答えた方が 3 名（21%）、回答なしが 6 名（42%）であった。図 49 および表 13 にアンケート調査結果の一部を示す。設問 1 の訓練に対する満足度は、14 名全員から「良かった」または「どちらかという良かった」という回答が得られた。設問 5 の手順書の使いやすさやとるべき行動のわかりやすさについては、「わかりやすかった」または「どちらかというわかりやすかった」と答えた方が 7 名（50%）、「どちらともいえない」が 4 名（29%）、「どちらかというわかりにくかった」が 3 名（21%）であり、「どちらともいえない」または「どちらかというわかりにくかった」と答えた方の理由として、「フェーズ 1～4 がそもそものような状況・段階なのか分かりづらかった。行動様式（大きな声を出す・復唱する・情報には時間をいれる）を最初に明示すべきだと思う。」「手順書はあまり読みませんでした。組織編成と役割の表のみで、訓練した感じです。」などが挙げられた。一方、設問 8 の災害対応のイメージ作りに役立ったかについては、「役立った」または「どちらかという役立った」と答えた方が 13 名（93%）であった。設問 10 の西口現地本部に期待する役割や、西口現地本部から提供してほしい情報については、「西口一帯の防災・災害対策をリードする立場で聞き続きをお願いします。」「多種多様な事務所や関係者が分散する西口地域を統率し対策を実施するうえで、西口現地本部の存在は絶対必要である、さらに重要性を増し機能を高めてほしい。」「一時滞在施設への連絡とスムーズな誘導、これが最大の課題であるため、この点の検討をお願いしたい。」といった改めて西口現地本部の役割の意義やさらに効果的に活動するための意見等が挙げられた。

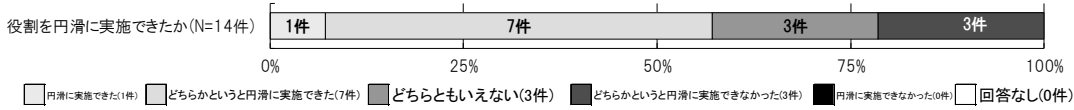
Q1. 本日の訓練に参加した感想はいかがでしたか？



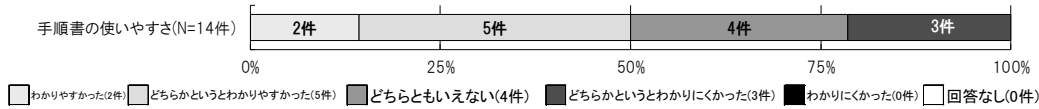
Q2. 訓練のわかりやすさはいかがでしたか？



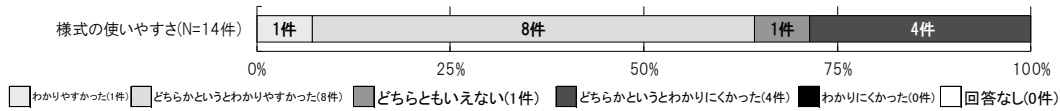
Q3. 訓練における役割を円滑に実施できましたか？



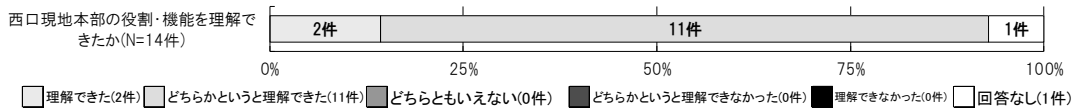
Q5. 手順書の使いやすさやとるべき行動のわかりやすさはいかがでしたか？



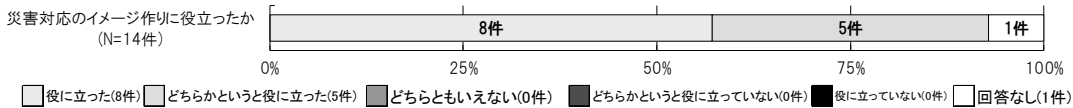
Q6. 様式の使いやすさ、表示内容などはいかがでしたか？



Q7. 西口現地本部の役割や機能を理解することが出来ましたか？



Q8. 新宿駅周辺地域で起きる地震被害や地域で必要となる災害対応のイメージづくりに役立ちましたか？



Q9. 今回のような図上演習形式での訓練は災害対応力を高めるうえで有用だと思いますか？

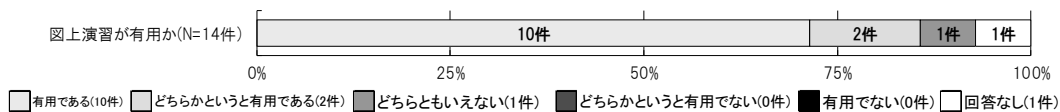


図 49 西口現地本部訓練参加者（現地本部要員）に対するアンケート調査結果(1)

表 13 西口現地本部訓練参加者（現地本部要員）に対するアンケート調査結果(2)

<p>「上手くできた」と思うこと(設問 4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期から後半にかけて情報の流れが良くなった ・ 訓練は回数が必要である ・ フェーズの切り替え ・ システムへの情報反映 ・ メール送信機能 ・ 入ってきた情報の受け取りとさばき（敵協可能期間への要請） ・ 情報の受け渡しのときに、聞き返しながら情報の不足を解消するよう努めた ・ 無線により情報を伝えることができた <p>「上手くできなかった」と思うこと(設問 4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 判断がタイムリーに下せなかった ・ 各役割の方の動きをなるべく見回して無駄のない形で統率することができなかった ・ 運営支援版図の連携がうまくできなかった ・ 情報を大きな声に出して伝えるのはうまくできなかった ・ 無線からの情報をすべて書き取れなかった ・ 各種情報の重要度、緊急度の判断することが必要と感じる ・ 情報が来るまでやることがなかった ・ 自発的に動くべきだった ・ 情報のトリアージ ・ 付与される施設情報とウェブ上での施設の名前が違っていた ・ （序盤から中盤まで）自分の役割が見出せず発揮できなかったこと。「運営支援班」という名称はあいまいです。「ひと・もの融通班」のほうが分かりやすかった ・ 班の役割が不明確だったため、最初は非常に戸惑った ・ 情報の聞き取り、伝達が効率的にできなかった <p>手順書の使いやすさや取るべき行動のわかりやすさ（設問 5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フェーズ 1～4 がそもそもどのような状況・段階なのか分かりづらかった。行動様式（大きな声を出す・復唱する・情報には時間をいれる）を最初に明示すべきだと思う ・ 手順書はあまり読みませんでした。組織編成と役割の表のみで、訓練した感じでした <p>様式（ホワイトボードに掲示された）の使いやすさ、表示内容（設問 6）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的にはフォーマットで足りるが、例外が思ったより多かった ・ 担当業務のための様式 11 が(ホワイトボード)が用意されていなかった。使われていないシートを裏返して対応したが、様式が作成されておらず情報の記入がスムーズにできなかった <p>西口現地本部に期待する役割や、西口現地本部から提供してほしい情報について（設問 10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西口一帯の防災・災対をリードする立場で聞き続きをお願いします ・ 多種多様な事務所や関係者が分散する西口地域を統率し対策を実施するうえで、西口現地本部の存在は絶対必要である、さらに重要性を増し機能を高めてほしい ・ 一時滞在施設への連絡とスムーズな誘導、これが最大の課題であるため、この点の検討をお願いしたい ・ 的確・迅速な判断による現場対応 ・ 高層ビルが多いので帰宅困難者対策の重要性を感じた <p>西口現地本部の役割や活動について改善すべきと感じた点（設問 11）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビル名が一致していなかった点 ・ フォーマットが小さく書きづらくまた見にくい ・ 本部周りに人が多すぎる（見学者） ・ 受け入れ可能人数の表に受け入れ済み人数を書く欄がほしい <p>災害時に西口現地本部を機能させ、地域で有効に活用していくためのアイデア等（設問 12）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡網の整備 ・ 召集と役割分担のルール化とその徹底 ・ 訓練や防災に対する講演会などを継続的に実施していくことが大切だと思う <p>訓練を通して大規模地震等への対策について認識を新たにしたこと（設問 13）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報伝達の難しさを改めて感じた ・ 通信手段と一時滞在施設への誘導が重要だと改めて認識しました
